

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

# 銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 島田 洋二郎

副会長 松本 恭一

幹事 石毛 充

会計 金子 芳則

2016~2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017RI 会長 ジョンF. ジャーム

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2924号 (2016年11月16日発行)

## 今週のプログラム

「米山奨学生卓話」

国際ロータリー第2790地区

米山記念奨学会委員長 富 一美様

(成田空港南RC)

米山奨学生 リュウ シュエフェイダン様

## 前回例会報告 (11月9日)

点 鐘：島田 洋二郎会長

ロータリーソング：我等の生業

四つのテスト唱和

## 会長挨拶



今週の土・日曜には、千葉科学大学の学園祭、「青澄祭」が開催されます。ローターアクトも昨年同様、模擬店で“タコ焼き”を出店するそうですので、お時間のある方はお出かけ頂ければと思います。

さて、今日は新入会員の卓話ということで、副島会員のお話となります。副島会員はご存知の通り東日本電信電話株式会社=NTT 東日本の所長さんです。これにちなんで、ということも含め、今日は明治時代に「逓信省」といった頃からの、銚子の無線局のお話を少しさせて頂きたいと思います。副島会員もご存知かもしれませんが、銚子は日本で初めて「無線電信施設」が出来たところなんです。1908年(明治41年)5月26日、日本最初の無線電信局である「銚子無線電信局」が設置されました。場所は川口の「夫婦ヶ鼻=メドハナ」のあたりで、現在のポートタワーがあるところなんです。現在も駐車場に「無線電信創業之地」、そして「銚子無線電信局発祥之地」という碑があります。

当時の無線通信は通信手段の無い海洋上の通信から始まったそうです。1908年、開局の年の5月25日に、横浜からアメリカのシアトルに向かう客船「丹後丸」との通信に日本で初めて「銚子無線電信局」が成功をしました。銚子無線局は「海岸局」というもので、通信に初めて成功した船舶の丹後丸は「船舶局」と言われていました。当時の海岸局は、銚子にできた後、「長崎海岸局」、「和歌山県・串本の潮岬海岸局」、「下関の角島海岸局」、「根室の落石海岸局」と5か所、そして船舶局は、「丹後丸」、「天洋丸」、「伊予丸」、「加賀丸」、「安芸丸」、「土佐丸」、「信濃丸」、「香港丸」、「日本丸」、「地洋丸」の10隻だったそうです。開局当時は1MHZ、短波の「モールス信号」で、通信範囲が120海里、約220キロでしたので、海岸局、船舶局がそれぞれ通信をすることで連絡を取るといったものでした。

銚子無線電信局はその後、1929年に小畑新町、現在の市民センターのところに、新たに「銚子無線電信小畑受信所」を開設し、これまでの川口は送信局として二重通信方式となりましたが、10年後の1939年に送信局を川口から野尻に移し、「銚子無線電信椎柴送信所」として、川口送信所は廃止となり、その後、20年前まで、無線局として継続をされていましたが、無線通信や衛星通信の技術向上で、モールス信号通信の需要が減り、1998年(平成8年)に小畑受信所、椎柴送信所とも廃局となりました。

この間、「銚子無線電信局」は、戦前は豪華客船、貨物船や移民船などの、日本と世界の大型船舶との通信や、当時日本の統治領だった南洋諸島との通信拠点として、また、戦時中には日本軍の戦況を伝える拠点の地であったそうです。そして、戦後になってからは、戦前に続き、日本や世界の大型客船、貨物船、移民船、また遠洋漁業や捕鯨船との通信を行



第2790地区

ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀

委員 金子 芳則

ない、加えて「南極の昭和基地」との通信も有名だったと記憶していますが、1960年代には年間130万通を扱う「世界一の無線電信局」として、「銚子無線電信局＝CHOSHI RADIO / JCS <ジャパン・コーマ・スケール>」は世界に知られる存在となっていたそうです。本日の卓話者の副島会員の会社「NTT=Nippon Telegraph and Telephone Company」は、「日本電信電話公社」から、1982年(昭和62年)に「日本電信電話株式会社」となりました。子供のころは通称“電電公社”、電話はアナグロの「ダイヤル式黒電話」でした。その後、デジタルの「プッシュ式電話」となり、私が30歳代初めには「ポケットベル」をズボンのベルトに通していました。その後、バブル時代の「自動車電話」、「肩掛け式の大きな無線電話」となり、現在の「携帯電話」、そして「スマートフォン」と進化してきたということですが、自分自身、パソコン歴は結構長いと思いますが、SNSに関してはあまり興味はありません。しかし、これからも通信技術は想像を超えて進歩していくことと思います。

## 幹事報告

1. クラブ役員キット送付…ガバナーエレクト事務所

【例会変更】

小見川RC

11月23日(水)・30日(水)

定款第8条第1節Cにより休会

八日市場RC

11月22日(火)定款第8条第1節Cにより休会

29日(火)→26日(土)R情報研修会へ振替

## 会員の記念日

☆誕生日おめでとございます。



上総 泰茂会員  
(11月3日)  
松本 恭一会員  
(11月9日)  
櫻井 公恵会員  
(11月9日)

☆入会記念日 高橋 宏明会員 (11月4日)

## ニコニコBOX

◇大ニコニコ青野 秀樹会員



11月5日ハワイで長女の結婚式をあげました。海をながめる素晴らしい景色の教会でバージンロードを歩きました。感激でした。

## 卓話

「新入会員卓話」 副島 賢治会員

皆様こんにちは。新入会員の副島でございます。今年の7月に銚子に転勤になり、8月24日から銚子ロータリークラブの一員に加えていただきまして、2ヶ月以上



が経過しましたが、ようやく銚子での生活にも慣れ、ロータリークラブのことも少しずつ分かってきたところでございます。

本日は皆様の前で話をさせていただく機会を与えてくださり、誠にありがとうございます。皆様には少々退屈かもしれませんが、

あらためて自己紹介を兼ねて、私のこれまでの経歴と趣味や職業に関する話をさせていただきたいと思っております。

私は1971年(昭和46年)5月17日に、会社員の父と専業主婦の母との間に、初めての子(長男)として生まれました。下には4歳離れた妹がおり、4人家族の中で育ちました。「賢治」という名前は、父方の祖母が近所の神様?(新興宗教の教祖様のような方でしょうか?)に姓名判断してもらってつけたそうです。母は「太郎」という名前にしたかったそうですが、祖母が頑として受け付けなかったそうです。幼いころにそのことを聞かされたときは、「賢治」にしてくれて良かったと心底思いましたが、今になってみれば、太郎のほうが私の体型に合っていて、インパクトもあって良かったかなと思います。なお、「太郎」という名前は、その後家族で飼った柴犬に付けられました。飼い始めてすぐに、気がついたら母が「太郎、太郎」と呼んでいて、他の名前は認めてくれませんでした。

出生地は群馬県桐生市ということで、ここは母の故郷で、いわゆる里帰り出産という形でした。育ったのは東京都杉並区の下高井戸というところです。当時我が家は貧乏で、住まいは一軒家の離れ、六畳一間を間借りして3人で暮らしておりました。食事も質素で、もやしを茹でてごま油と醤油と酢で味付けした、おひたしのようなナムルのようなものをよく食べていたそうです。私も幼少の記憶として本当にうっすらとですが残っています。

当時一人息子だった私は、やんちゃに育ったようで、2歳のときのエピソードで、母と二人で新宿の京王百貨店に行ったのですが、母がほんの少し目を離れた隙に私が一人でどこかに行ってしまう、母は慌てて周囲を捜したのですが見つからず、館内放送で迷子の案内もしてもらったのですがそれでも見つからず、いよいよ警察に届けようかというときに、隣接している小田急百貨店から男の子の迷子の問い合わせがあったらしく、母が急いで駆けつけてみると、ニコニコと周りに愛嬌を振りまきながら楽しそうにしている私がいまして、なんだか力が抜けてしまっただけで叱ることもできなかったそうです。そのときに白髪が2、300本は増えたと言われ、今でも母から文句を言われています。

その後3歳のときに、父の故郷である長崎県佐世保市に移り住みました。父はそれまでと変わらず東京で仕事をしており、1ヶ月ごとに4、5日まとめて休みを取って佐世保に帰ってくるという単身赴任生活をしておりました。お父さんっ子だった私は、父が帰ってくるのを心待ちにしており、東京に戻ってしまう日には「行かないで〜!」と泣いて頼んでいた記憶があります。

4歳のときには妹が生まれました。妹が生まれた当時、母が妹の世話で大変だったこともあって、近所に住む祖母(名付け親の祖母です)のところに預けられていました。祖母は靴屋を営んでいたのですが、ある日私が店にいて祖母が2階の自宅にしばらくいたところ、私が店内に陳列してあった靴を、何を思ったか店の外の路上にせっせと運んで並べ直してしまったことがあったそうです。祖母がそれに気がついたときには、やっぱりニコニコしながら「偉いでしょ!」とばかりに胸を張っている私を見て、祖母はやっぱり力が抜けてしまって叱ることもできなかったそうです。

その後6歳のときにまた東京都杉並区に引っ越しました。建売の小さな一軒家ですが、30代でマイホームを手に入れた当時の両親は一生懸命頑張ったのだらうなと思います。築40年になるその家が今でも私の実家で、父は18年前に病気で他界し、私も妹も結婚して家を出てしまったので、今では母が一人で悠々自適に暮らしています。

小学校、中学校は、近所の公立に通いました。その9年間は、ひたすら軟式野球に打ち込みました。小学校に入学する当時、王貞治さんがまだ現役で、世界新記録のホームラン756号を打ったとき6歳だった私は、王選手に憧れて野球を始めました。小学校のときは、同じ小学校の生徒たちで構成されたクラブチームで、中学校のときは部活で野球を続けました。小学・中学ともチームはそれほど強くなく、大会で目立った成績は残せませんでした。私は主にサード・ショート・セカンドといった内野手を務め、打線においては1番・3番といった中軸を任せておりました。決してキャッチャーではありません。キャプテンも務め足も速かったので、今でいうと巨人の坂本勇人選手のような走・攻・守揃ったプレイヤーでした。決してデブ大久保ではありません。

高校は都内の私立男子校に行きました。第一志望だった都立高校には落ちてしまいましたが、男子校というのがとても格好良く感じられて、入学当時はワクワクしていたことを覚えています。しかしながら、男子校というものは当たり前ながら女子が一人もおらず、入学してすぐに都立高校を落ちたことを大いに後悔しました。部活は野球を続けたい気持ちはありましたが、女子もない男子だらけの中で、なぜストイックに坊主頭にしなければならぬのかどうしても納得できず、何を血迷ったか将棋部に入りました。なんとなく入った将棋部でしたが、少ないながらも気の合う先輩・同期・後輩に恵まれて東京都の団体戦で好成績を収めたり、OBの方の紹介でプロ棋士の森下卓九段に指導していただいたりなど、楽しい思い出が残っています。

大学は都内の私立大学に行きました。両親には、高校・大学と私立に行かせてもらって本当に頭が下がる思いです。それなのに、大学では全然勉強しませんでした。入学式の日にサークルの勧誘活動があって、いろいろなサークルに声をかけられましたが、高校でやらなかった軟式野球のサークルに入ることにしました。決め手は、「マネージャ」という位置づけでサークルに所属する他の女子大学の学生が大勢いたからです。多摩川の河川敷で野球をして、マネージャたちと飲みに行くという他

愛もないことが、男子校出身の私にはものすごく楽しい出来事でした。また、第二外国語で中国語を選択したのですが、こちらのクラスの友達とは、中国語ではなく中国発祥の4人用のテーブルゲーム(麻雀です)に寝る時間を惜しんで打ち込みました。そうしてできた友達は今でもかけがえのない大切な財産ですが、もう少し勉強もしておけば良かったなと今になって思ったりもします。

大学卒業後は、NTT 東日本(当時は分割する前でNTT)に入社しました。入社した当初は、電話料金の回収の仕事をしておりました。電話料金をお支払いいただいていないお客様へ督促したり、電話を利用停止したりする業務で、中には電話を停めると怒鳴り込んでくるお客様もいらっちゃって、かなりストレスの溜まる仕事でした。プライベートでは、気の合う職場の先輩と毎週のように馬券を買いに行ったり飲みに行ったり、というような生活を送っていました。

そんな中、転機が訪れます。1999年(平成11年)6月のある日、A先輩から東京の三鷹駅前に呼び出されました。呼ばれたのは私と、もう一人別のB先輩の二人です。集合するなり、A先輩から発表がありました。「毎週のように競馬しに行くのは楽しいけれど、少し飽きてきた。なので、別の楽しい遊びを始めようと思う」私たちは聞き返しました。「何をしますか?」A先輩はこう答えます。「劇団を作って芝居をやろうと思う。これからこの近くにある武蔵野芸能劇場ってところを押さえに行くけど、お前ら、やる?」正直、何を言っているのか理解できなかったのですが、私たち二人とも即答しました。「はい、やります!」この瞬間、現在も私が所属する「劇団 Type II」が誕生しました。

A先輩は現在も劇団の主宰を務めています。以前職場に派遣社員の女性で劇団をやっている方がいて、その方に感化されて劇団を作りたいと思ったようです。A先輩はその女性に「芝居って俺でもできるかな?」と尋ねたところ、「誰でもできるよ」と言われ「じゃあまず何をやったらいい?」とさらに尋ねたところ、「劇場を予約しないとできないね」と言われ、素直に劇場を予約したというわけです。後日、「劇場を押さえたいけど、次はどうすればいい?」と聞いたところ、「え!?!劇場押さえたい?バカじゃないの?」と返ってきましたが、劇場はキャンセルしてもお金は半分しか戻ってこないの、引くに引けない状況になってしまいました。

そこから先は、もう無我夢中で稽古に取り組みました。A先輩・B先輩・私、3人とも人前で何かするのは好きでも演劇なんて学芸会でしか経験がないものですから、例の女性が私たちの「師匠」となり、手取り足取り、発声練習から舞台用語の基礎など、本当にイロハから徹底的に指導してもらいました。私たちの公演日は翌年の1月15日と決まっていた台本もA先輩がオリジナルで書いてありましたが、最初の3ヶ月ぐらいいはその台本を1行も読まないまま、エチュード(即興劇)をひたすらやったり、師匠の劇団で使った台本で勉強したりしました。ようやく本番の台本の稽古に入ったのは10月ぐらいいだったと思いますが、それも師匠が演出をしてくれて、台本もいろいろと手直しをしながら、途中B先輩が結婚式を挙げ、新婚旅行に行くと1ヶ月ぐらいいない時期もありながら、

どうにかこうにかお金をいただいて人に見せられるものに仕上げることができました。

迎えた 2000 年 1 月 15 日、公演はその日限りの昼・夜 2 ステージ行いました。お客様は、友人・知人・家族を中心に、ほとんどが知り合いの方ばかりでしたが、延べ 250 人ほどの方々にお越しいただき、キャパシティ 150 人の小ホールは、昼・夜ともほぼ満席の状態でした。お客様から「楽しかったよ！期待以上に」とか、「感動して泣いちゃった」といった賞賛の声をたくさんいただくことができました。旗揚げ公演は笑いの中に、ちょっとほろりとさせるシーンもあるストーリー展開で、以後の劇団 Type II の基本スタイルになっています。

その後は 1 年から 2 年に 1 本のペースですが、現在も公演を続けています。旗揚げ公演は 3 人芝居でしたが、その後は他の劇団とも交流が広がって、多くの役者さんたちに客演という形で出演してもらったりしています。私も他の劇団の芝居にも数本出させていただき、ミュージカル仕立て(劇中で歌ったり踊ったりする)の芝居も経験しました。

芝居の魅力は、舞台上でライトを浴びながら様々な役を演じること、映画や TV ドラマとは違って失敗が許されない一発勝負の緊張感、お客様から賞賛の声をいただいたときの達成感・満足感などがあるのはもちろんですが、公演を通じていろいろな役者さん・スタッフさんたちと知り合い交流を深めることにあります。私の妻とも芝居仲間から紹介してもらったのが縁で付き合い、結婚するに至りました。これからも体力が続く限り芝居を続けて、仲間の輪を広げていきたいと思えます。

最後に、職業に関する話を少しだけさせていただきたいと思えます。現在、私どもでは企業のお客様の通信環境におけるセキュリティ対策の支援に力を入れています。これまではお客様の ICT 化を推進するお手伝いをさせていただいてまいりました。高速で安定したブロードバンド回線の提供により、インターネット利用やデータ通信が可能になることで業務の効率化や仕事の仕方を変えることができます。その反面、インターネットに接続することで、サイバー攻撃などの危険が格段に増え、万が一情報漏えいなどで信頼を失墜した場合、取り戻すには膨大なコストと時間がかかります。そのリスクを軽減するため、私どもではセキュリティ対策もセットで支援させていただいているところです。

先月、千葉県内の某商工会議所の会員様向けに、千葉県警察本部との共催でセキュリティ対策に関するセミナーを開催いたしました。千葉県警察本部からは、銚子ロータリークラブでも 8 月 10 日に卓話をいただいた星野和彦様がお越しくださり講演していただきました。マイナンバーの取り扱いなど厳格な安全管理が求められる中、何らかのセキュリティ攻撃の被害に 5 年間で合う確率は 15%に上るとい調査結果も出ております。これは交通事故に 5 年間で合う確率 3.5%、侵入窃盗に 5 年間で合う確率 0.7%と比べても非常に高いものとなっております。もしセキュリティ対策のことでお困りごとなどがございましたら、お気軽に私までご相談ください。

最後になりますが、私自身、ロータリアンとしてこれから学ぶべきことがたくさんあるかと思えます。これからも

皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。本日はご清聴、誠にありがとうございました。

## 入会式

石毛 英俊会員



事業所：(株)デーベロップヤリタ  
か & リゾート犬吠埼 太陽の里  
フロント宿泊支配人  
職業分類：ホテル  
所属委員会：親睦活動委員会  
カウンセラー：高橋宏資会員

## 米山功労者表彰



島田洋二郎会長(第 1 回)

高橋 宏資会員(第 5 回)

## 【出席報告】

会員総数 42 名

出席計算 40 名

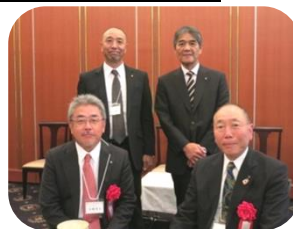
出席 30 名 欠席 10 名 出席率 75.00%

欠 席：伊東君・越川君・丸山君・宮内(秀)君  
宮崎君・坂本君・杉山君・田中君  
富永君・高橋宏明君

## 【M U】

11/8 銚子東 RC 大里君

11/12 富津中央 RC 石毛君・島田君



富津中央 RC50 周年式典  
にて寺嶋 GE (左) と

☎

## 【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 17,000	計 ¥208,000
スモールコイン	¥ 2,800	計 ¥ 21,090
米山 BOX	¥ —	計 ¥ 19,310
希望の風	¥ —	計 ¥132,100

## 次週 23 日(水) は休会です。(勤労感謝の日)

次回のプログラム (11 月 30 日)

「私の職業奉仕感」

地区ロータリー研修委員会

副委員長 諸岡 靖彦様(成田 RC)

お弁当：入船(幕の内)